



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月30日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉谷 敏 (TEL) 03-5318-0639
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	65,064	53.0	21,805	52.1	22,796	57.4	16,502	64.2
2022年3月期第3四半期	42,522	13.0	14,331	20.4	14,478	19.0	10,050	16.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 17,548百万円(75.6%) 2022年3月期第3四半期 9,992百万円(1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	403.56	—
2022年3月期第3四半期	245.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	143,717	109,611	76.3
2022年3月期	126,883	96,044	75.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 109,611百万円 2022年3月期 96,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	94.00	94.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				99.00	99.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	33.3	23,500	29.8	25,000	32.8	18,000	40.4	440.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	42,000,000株	2022年3月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,112,350株	2022年3月期	1,101,349株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	40,892,570株	2022年3月期3Q	40,898,689株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループでは「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「デジモンアドベンチャー」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図りました。特に、6月公開の映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、8月公開の映画「ONE PIECE FILM RED」、12月公開の映画「THE FIRST SLAM DUNK」を梃子とした営業活動に注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、650億64百万円（前年同期比53.0%増）、営業利益は218億5百万円（同52.1%増）、経常利益は227億96百万円（同57.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は165億2百万円（同64.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益及び営業損失ベースの数値であります。

① 映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画おしりたんてい シリアーティ」、6月に映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、8月に映画「ONE PIECE FILM RED」、9月に「映画デリシャスパーティ♡プリキュア 夢みる♡お子さまランチ!」、12月に映画「THE FIRST SLAM DUNK」を公開しました。映画「THE FIRST SLAM DUNK」、映画「ONE PIECE FILM RED」の記録的ヒット等により、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」、「ワンピース」、「デリシャスパーティ♡プリキュア」、「デジモンゴーストゲーム」、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」、「おしりたんてい」の6作品を放映しました。ゲーム向け音声製作は好調に稼働したものの、前年同期と比較して放映作品数が減少したこと等から、大幅な減収となりました。

コンテンツ部門では、前年同期好調に稼働した映画「魔女見習いをさがして」、「映画ヒーリングっど♡プリキュア」等のブルーレイ・DVDの反動減等により、減収となりました。

海外映像部門では、映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、映画「ONE PIECE FILM RED」、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の海外上映権販売に加えて、海外映像配信権販売が好調に稼働したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

その他部門では、国内の映像配信権販売が好調に稼働したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は292億77百万円（前年同期比80.0%増）、セグメント利益は85億34百万円（前年同期比72.6%増）と大幅な増収増益となりました。

② 版權事業

国内版權部門では、映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、映画「ONE PIECE FILM RED」の公開と連動した販売促進により、両作品とも商品化権、ゲーム化権が好調に稼働したこと等から、大幅な増収となりました。

海外版權部門では、「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」のゲーム化権販売に加え、「デジモンアドベンチャー」シリーズや「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

この結果、版權事業全体では、売上高は312億54百万円（前年同期比29.1%増）、セグメント利益は157億11百万円（同29.6%増）と大幅な増収増益となりました。

③ 商品販売事業

商品販売部門では、「ワンピース」のショップ事業や映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売が好調に稼働したこと等から大幅な増収となりました。

この結果、売上高は35億19百万円（前年同期比112.3%増）、セグメント利益は2億4百万円（前年同期は、96百万円のセグメント損失）となりました。

④ その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。「ワンピース」や「プリキュア」シリーズの催事が好調に稼働したことから大幅な増収となりました。

この結果、売上高は11億86百万円（前年同期比169.0%増）、セグメント利益は48百万円（前年同期は、2億61百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2022年10月21日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(3) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な政策の一つとして考えており、財務の健全性、成長が期待されるビジネス機会への投資、株主さまへの利益還元のバランスを取りながら安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金については、「IPを戦略の軸に据えたグローバル事業展開」をより一層強化し持続的成長と中長期的な企業価値向上に資するような事業機会やグローバル企画に積極的に投資いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,149	63,186
受取手形及び売掛金	14,659	23,300
有価証券	155	52
商品及び製品	410	1,567
仕掛品	12,816	11,113
原材料及び貯蔵品	86	73
その他	4,682	5,392
貸倒引当金	△29	△34
流動資産合計	92,929	104,652
固定資産		
有形固定資産	8,516	8,340
無形固定資産	633	978
投資その他の資産		
投資有価証券	12,808	12,375
その他	12,028	17,405
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	24,803	29,746
固定資産合計	33,953	39,065
資産合計	126,883	143,717
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,007	23,130
未払法人税等	2,926	4,344
賞与引当金	461	290
その他	6,571	5,689
流動負債合計	29,966	33,454
固定負債		
役員株式給付引当金	100	136
退職給付に係る負債	137	207
その他	633	307
固定負債合計	871	651
負債合計	30,838	34,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	86,245	98,900
自己株式	△673	△807
株主資本合計	91,849	104,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,003	2,308
繰延ヘッジ損益	1	△6
為替換算調整勘定	1,189	2,939
その他の包括利益累計額合計	4,195	5,241
純資産合計	96,044	109,611
負債純資産合計	126,883	143,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	42,522	65,064
売上原価	21,800	35,320
売上総利益	20,722	29,744
販売費及び一般管理費	6,390	7,939
営業利益	14,331	21,805
営業外収益		
受取利息	29	58
受取配当金	220	720
持分法による投資利益	—	65
助成金収入	1	304
その他	94	86
営業外収益合計	346	1,235
営業外費用		
支払利息	0	14
持分法による投資損失	56	—
為替差損	114	223
その他	28	6
営業外費用合計	198	244
経常利益	14,478	22,796
特別利益		
関係会社清算益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
投資有価証券評価損	17	—
特別損失合計	17	—
税金等調整前四半期純利益	14,462	22,796
法人税、住民税及び事業税	4,110	6,636
法人税等調整額	300	△342
法人税等合計	4,411	6,293
四半期純利益	10,050	16,502
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,050	16,502

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10,050	16,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△438	△680
繰延ヘッジ損益	△4	△8
為替換算調整勘定	508	1,749
持分法適用会社に対する持分相当額	△123	△15
その他の包括利益合計	△58	1,045
四半期包括利益	9,992	17,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,992	17,548
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。